

所沢の自然と農業サークル10周年おめでとうございます

= 10 周年記念誌に体系的に凝縮された活動記録に感動 !! =

ところざわ倶楽部 会長 佐藤 重松

所沢の自然と農業サークルの皆様

創立 10 周年おめでとうございます！素晴らしい活動の足跡をビジュアルに読ませて頂き活動の集大成がこの記念誌に凝縮されていて、感動と驚嘆を覚えました。

所沢の農業の活性化と地産地消の観点から、農業の大切さを、自ら楽しく体験しながら更には、ボランティア活動も併せて継続する活動は素晴らしく拍手喝采です。まさしく、生涯学習（学ぶことと行うこと）が活動の指針として貫かれていることに敬意を表したいと思います。

日本の農業が抱える今日的問題は、①新規参入（就農）のハードルの高さ、②農業従事者の減少と高齢化、③食料自給率の低下と輸入依存や食の安全性の問題、そして何と云っても、④TPP が与える影響は大きく、⑤種苗問題、等々を含めてこの 5 つの視点が近未来的に日本の死活問題となることは必定と思われます。

日本の農業政策の脆弱さに対して、私たち日本人の食生活は、フードロスも含めて無防備な“飽食”に満ちている様に思います。世界を制するのは、武器ではなく食料戦略そのものだとも言われております。

私たち日本人は、農業に関する問題をより深刻に捉えなければならないと思います。その意味で、「所沢の自然と農業」サークルの皆様の活動が、ところざわ倶楽部のオピニオンリーダーとして、これからも楽しく末永く継承され、更には所沢に止まらず、日本の農業問題に警鐘を連打して頂ければと願っております。

2020 年 6 月吉日